

4 - 4 2000年6月26日の三宅島島内の地震活動 Seismic activity in Miyakejima on June 26, 2000

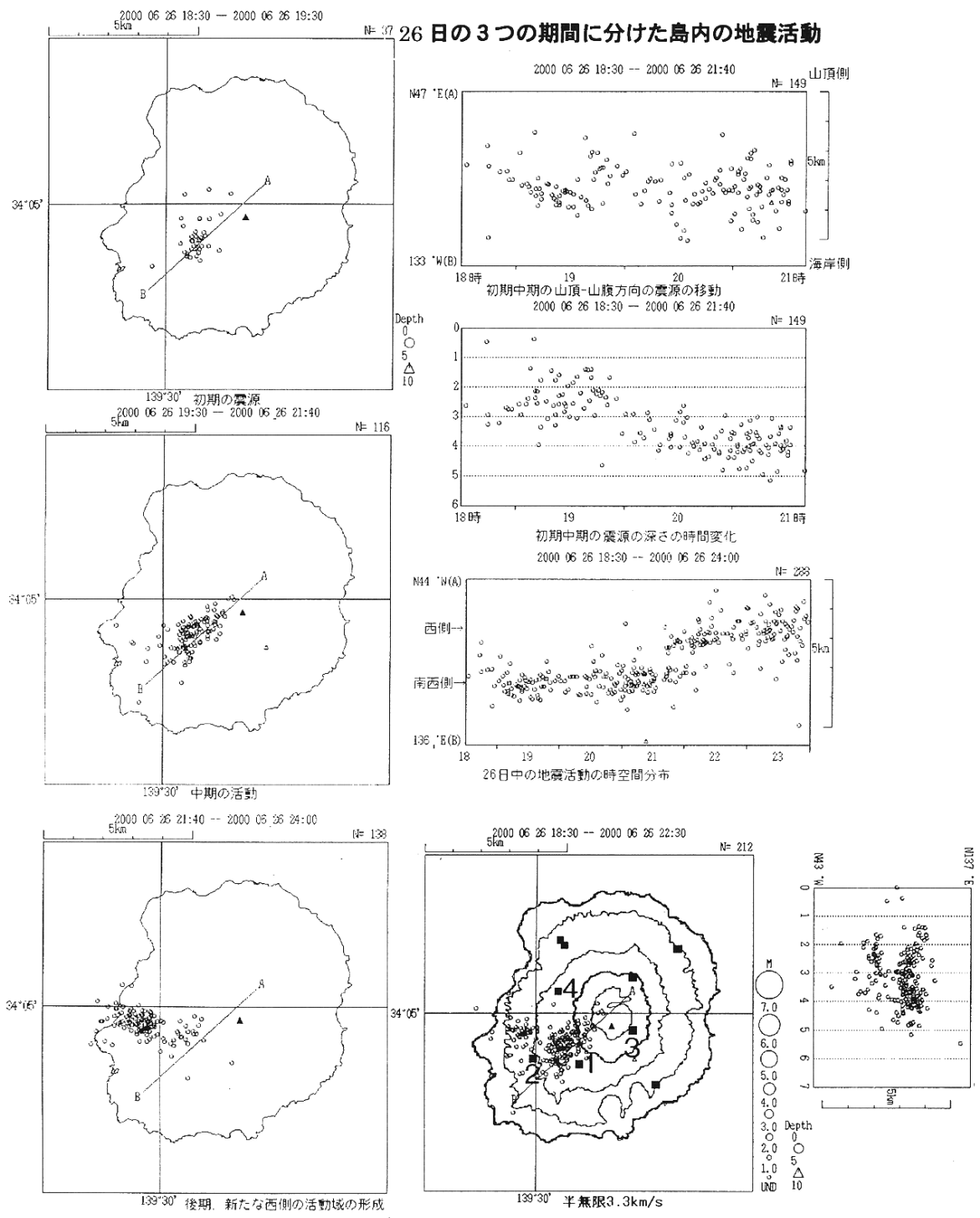
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

三宅島島内で、6月26日18時過ぎから始まった地震活動は、次第に三宅島西方沖に震源が移動し、神津島東方海域で活発な地震活動を繰り返すほか、新島西方沖や、御蔵島西方沖でも活発な地震活動を行うなど、広域の地震活動に展開したが（別項「2000年三宅島近海および新島・神津島近海の地震活動」参照）、ここでは、6月26日中の活動における震源の移動を報告する。

震源は19時半ころまで南西に1km移動し、震源の深さもやや浅くなる傾向が認められる。その後、震源は同じ地域で、不連続に4km位とやや深くなり21時過ぎまで活動が続いた。21時半頃から、南西の活動から西に離れた海岸際で新しい地震活動が始まり、西へ移動しはじめた。

なお、この震源は、三宅島島内の気象庁4点、東京都・地震研究所4点、防災科学技術研究所1点の観測点のデータを用いて、P波速度3.3km/sの半無限構造で、高度補正を行って、計算されている。震源決定の結果のみならず、地震波の各観測点への到着順から、初期に島内で発生した地震の初動は、気象庁阿古（観測点1）が一番早く、西側の手島牧場（2）、山頂（3）がそれに続いており、初期の地震は、南西山腹の下から始まったと考えられる。それ以降の活動では、手島牧場或いは、村営牧場（4）の初動が早い地震が観測されるようになった。



第1図 2000年6月26日の三宅島島内の震源の移動。
Fig.1 Migration of hypocenters in Miyakejima on June 26, 2000.